

相手や目的に応じて話そう

名前

学習日

ポイント

- 簡単な敬語の使い方を身につけましょう。
- 聞き取ったことをきちんと伝言しましょう。

基本問題



次の会話文は、山田君が、お父さんの会社の人と電話でやりとりをしたときのもです。これを読んで、あとの問いに答えなさい。

「もしもし、山田さんのおたくですか。」

「はい。どちらさまですか。」

「石川と申します。お父さんは、いらっしゃいますか。」

「父は、今、いません。」

「お父さんは、いつ、お帰りですか。」

「たぶん、夜おそくなると」

「それでは、明日、石川がまたお電話するとお伝えください。」

「わかりました。伝えておきます。」

- (1) にあてはまることばとして、最もふさわしいものを次から選び、記号で答えなさい。

ア 思います

イ 思いになります

ウ 思っていच्छやいます

- (2) 山田君が、お父さんに伝言を伝えるときの話し方として、最もふさわしいものを次から選び、記号で答えなさい。

ア 「石川さんが、あす、電話すると申していました。」

イ 「石川さんが、あす、電話すると申していच्छやいました。」

ウ 「石川さんが、あす、電話するとおच्छやっていました。」

相手や目的に応じて話そう

名前

学習口

チャレンジ問題



次の、学校での山田君と先生との会話を読んで、あとの問いに答えなさい。

「山田君、明日は、家庭訪問であなたのお家に ます。」

「すみませんが、母は、明日、急な用事ができてしまって、外出しないといけないそうです。」

「そうですか。明日、お母さんは、何時にお帰りですか。」

「七時と言っていました。」

「それはおそいですね。では、別の日にしましょうか。お母さんに、ご都合のいい日を たいのですが。」

「わかりました。母に聞いておきます。」

(1) ニか所ある には、同じことばが入ります。あてはまることばを、前後につながるように書いて答えなさい。

(2) — 線部「言っていました」を、この場合にふさわしい話し方に直すと、どうなりますか。次から最もふさわしいものを選び、記号で答えなさい。

ア 申していました

イ 言っておられました

ウ おっしゃっていました

(3) 山田君が、お母さんに伝言を伝えるときの話し方として、ふさわしくないものを次から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 先生が、お母さんの都合のいい日をお聞きしていました。

イ 先生が、お母さんの都合のいい日をお聞きになっていました。

ウ 先生が、お母さんの都合のいい日を聞いていらっしゃいました。

相手を目的に応じて話すこと

基本問題

解答	アドバイス
<div data-bbox="1769 225 1834 288">◆</div> <div data-bbox="1668 225 1756 319">(1) ア (2) ウ</div>	<div data-bbox="1769 643 1834 707">◆</div> <p>敬語には、大きく「尊敬語」「謙譲語^{けんじやうご}」「丁寧語^{ていねいご}」の三種類があります。何がだれの動作か、だれが目上の人か、などに注意して、敬語を使い分けられるようにしましょう。</p> <p>(1) イ・ウは尊敬語なので、自分に対して使うのはふさわしくありません。</p>

相手や目的に合わせて話すこと

チャレンジ問題

解答	アドバイス
<div><div>◆</div><div>(1) うかがい (2) ア (3) ア</div></div>	<div><div>◆</div><div>(1) 「行く」「来る」の謙譲語と、「聞く」の謙譲語は、 どちらも「うかがう」になります。</div></div>